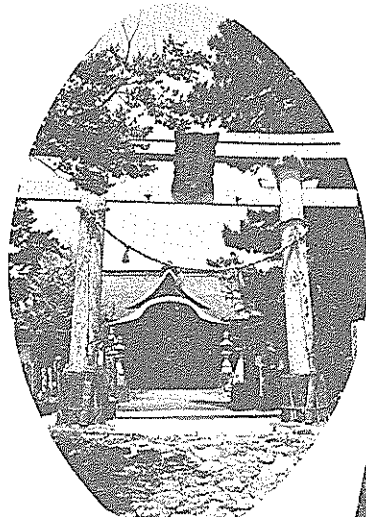


潮風サイクリングコース



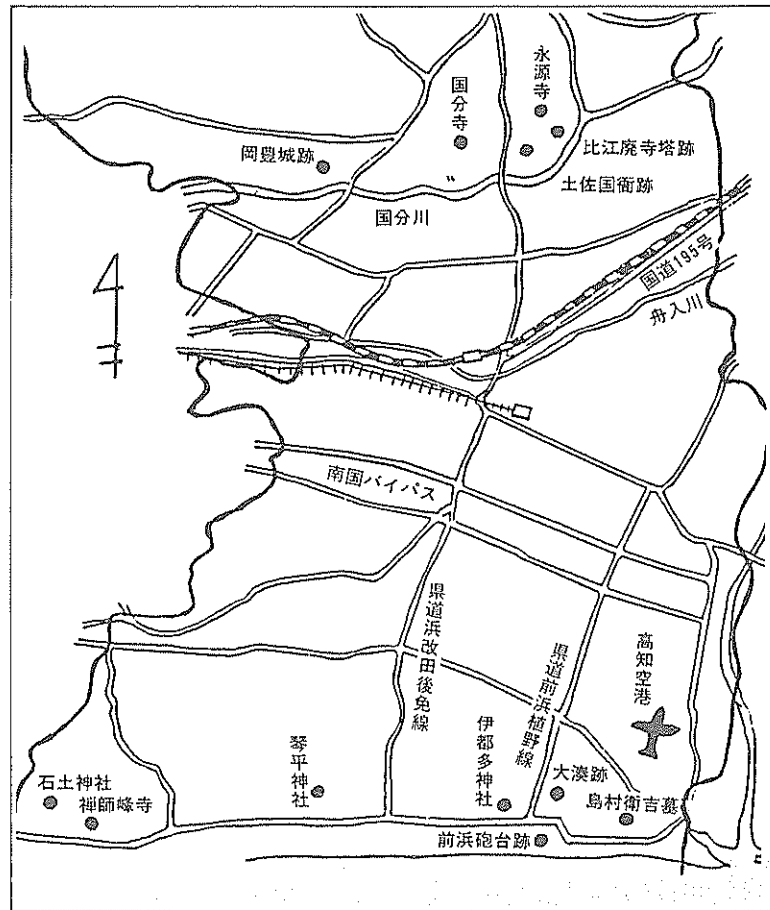
前浜砲台跡



伊都多神社



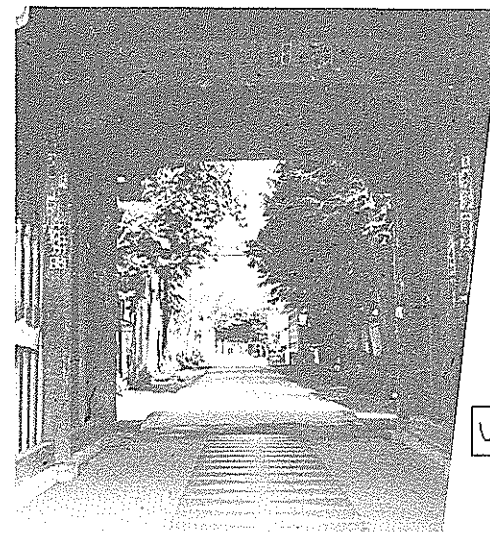
禅師峰寺



潮風受けて 社寺巡り

物部川の清流に映るジェット機の機影を眺め出発。まず、維新の志士島村衛吉の墓を参り、西へ前浜砲台跡を訪ねる。幕末、黒船が浦賀に来航、幕府は騒然となり要所に砲台を築いた。そして尊王攘夷運動が盛んになり、土佐勤王党が結成、衛吉は志士として活躍。県道を北上し、貫之が船出した大湊跡へ。今は後川がその面影をわずかにとどめるのみ。引き返し、秋の大祭で知られる伊都多神社を参拝し、潮風さわやかに西へ走る。途中、浜に出てキス釣りも楽しめる。琴平神社へ到着。白鳳の大地震で黒田郡が沈んだとき、金の御幣が飛んで来た。それを祭ったのが始まりと伝えられる。琴平山を下り、32番札所禅師峰寺へ向かう。定明作の金剛力士像2体は重要文化財。その眺望は絶品。少し西へ、石土神社へ続く。伊予の石鏡神社を奥の院となえ、当社は前の宮と呼ばれる。大きな岩の下にある石灰洞は、伊予に続いているという昔話も残っている。最後は、石土池でふな釣りも一興。

土佐まほろばのみち



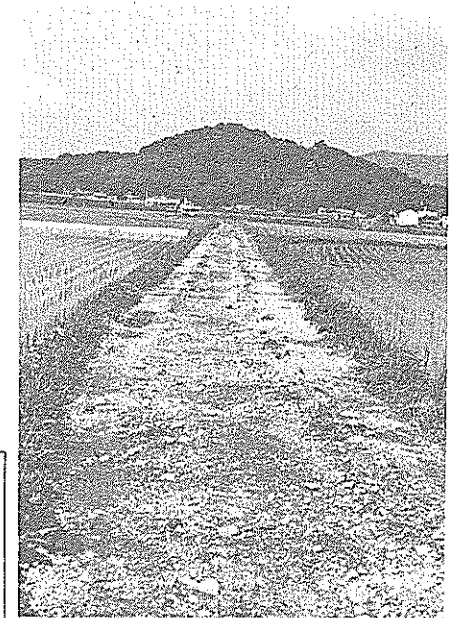
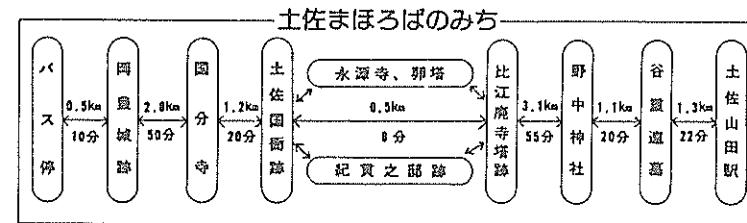
国分寺



乾家の大墓碑 (卵塔)



岡豊城跡



まほろばの道から岡豊山を望む

新緑に 史跡を訪ね

「土佐まほろばのみち」は、国鉄土佐山田駅を起点に岡豊山までの約11kmのコース。起点から少し西へ進み、北方の丘陵へ向かうと山中に谷重遠の墓がある。丘を下り西進すると野中神社(お婉堂)に着く。さらに国分川畔や田園地帯を西進し、比江庵寺塔跡へ到着。大きな礎石がある。その大きさをからみて三十二丁の五重の塔が建てていたものと思われる。そこから少し西へ向かうと紀貫之邸跡があり、今は小公園として名残をとどめている。その少し北の小丘に水源寺、その後には山内家の重臣であった乾家の大墓碑(卵塔)が並び、当時の隆盛を物語っている。土佐初期の政治文化の中心地であった国衙跡を通り、国分川畔を西進すると四国霊場第二十九番札所の国分寺へ着く。さらに田園地帯を西へ向かうと、長宗我部氏が築いた岡豊城跡(岡豊山)へ到着。岡豊山からは香長平野が一望できる。これは史跡めぐりを主体とした歴史探訪の家族向きコースで、静らかな国分川の流れやのどかな田園風景が楽しめます。